

有限会社鈴木園

東京都小平市

<http://www.rakuten.co.jp/suzukien/>



店舗概要

創業年 1903年(明治36年)
売場面積 46㎡(13.9坪)
従業員 5.6人
営業時間 9:00~18:30
定休日 不定期で日曜日
売上高 86,414(千円)

商品構成

お茶 85.0%
緑茶スイーツ・菓子 7.0%
海苔・食 5.0%
陶器・小物・雑貨 3.0%

経営方針

鈴木園では、お客様の立場に立ち、愛される商品作り、接客対応など「季節感があり楽しく役に立つお店」を目指しております。

また、地域密着のオリジナル商品を提供して、コダイラ土産的要素の贈答品にも力を入れております。

お茶とオリジナルスイーツを販売する地域密着型のお茶屋さん

〔このお店でなくては買えないオリジナル商品の開発〕

当店は、明治37年に創業し、お茶の製造から販売まで手掛けており、現在でも自社でブレンドや火入れ(焙煎)を行い、古来の狭山火入れ茶を承継している。ギフト商品なども自社でセットしており、一度に大量の出荷体制も完備している。

新しい日本茶ファンを創造すべく、地場産の紅茶や緑茶・ブルーベリーなどを使ったジャムやスイーツを開発して「コダイラブランド」やブルーベリー協議会認定品に選定してもらうなどしており、メディアなどにも取り上げられ、集客増の効果を上げている。ちなみに開発したスイーツ類は、ブルーベリージャム、抹茶チョコレート、パウンドケーキ、ロールケーキ、抹茶フィナンシェ・パイ、チョコフィナンシェ、ほうじ茶羊羹、抹茶大福。カフェオレ大福、など多岐にわたる。

お茶についても、玉川上水のブランドの茶や丸ポスト銘茶(小平市は都内で一番丸ポストが多く残っている町とのこと)など、ユニークな商品を販売している。



このように、オリジナル商品の販売を中心に、鈴木園に来ないと買えないような商品開発に力を入れている。

〔新旧顧客を増やす工夫〕

店舗設備については、来客の利便性を考えて改善している。

平成 20 年 4 月には、前面道路の青梅街道の歩道拡幅工事に際して駐車場の入り口を 1 か所から 2 か所に増設工事を行い、これにより車の客が 10%増加した。平成 22 年 10 月には、従来の日本茶ファンの囲い込みや新しい日本茶ファンを増やすべく店舗の増床を行った。緑茶スイーツ用の冷蔵ケースを設置して、お茶の試飲とお菓子の試食で商品の提案を行う機会を増やした。また、小物や雑貨・陶器の陳列スペースも増やした。この結果、顧客の店内滞在時間も増え、新規顧客の増加や単価も上がっており、客単価も 5%伸びている。平成 23 年 5 月、隣にセブンイレブンができた際には、話し合いにより当店の塀の一部を取り壊し双方の客の往来が良くなるようにした。その結果、新規の若年層の顧客の取り込みもできるようになり、双方の往来は 30%以上伸びた。

販売促進上の工夫については、新商品の開発に加えて、会員限定の DM による季節のお茶やお菓子のご案内の実施、有効期限がなく売出しでも貯まるカードの作成、病院やホームの栄養士とのコミュニケーションにより次に必要な商品の提案、百貨店やネットの人気商品にヒントを得た贈答品の提案、楽天市場に出店してネットや実店舗の売上貢献・情報集への活用などを行っている。

〔全員参加による店づくり〕

店舗改装と同時期にレジ・G キャットなどを一新させて、売れ筋商品、カード顧客の増加を図っている。PC による顧客管理の合理化も同時に実施することができた。

意思疎通を図るため、定期的な販売会議を全員参加で設けており、またコンサルタントや外部の方の指導により勉強会を行っている。

最先端、流行の発信地となっているお店や施設に全員参加で見学に行き、その接客やトレンドを学ぶ機会を設け、ものづくりや商品開発に役立てている。

【店舗立地】

店舗は、西武新宿線小平駅から徒歩 8 分のところに所在し、青梅街道に面している。

街道沿いにはレストラン、商店、公共施設も多く、また脇道に入れば住宅地が広がる商住混在地域。店舗は平成 22 年 10 月に改装している。

【店舗実績】

代表取締役は、50 代前半で昭和 56 年 3 月に埼玉県立茶業試験場を卒業後、同年 4 月家業の鈴木園に入社。昭和 57 年に父親が他界したため代表者に就任。平成元年 7 月に有限会社鈴木園を設立し代表取締役となる。

平成 18 年 3 月日本茶インストラクターの資格を取得、同年 9 月には天皇皇后両陛下に接茶を献上、更に平成 20 年 9 月には郵便事業会社より「丸ポスト銘茶」の表彰を受けている。

